

# 令和 8 年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	44	学校名	土浦第一高等学校				課程	定時制		学校長名	谷津 勉					
副校長名	松延 亮一			教頭名				町田 徳雄		事務(室)長名	加藤 健司					
教職員数	教諭	5	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	2	実習教諭、実習講師、実習助手	0	事務職員	5	技術職員等	6	計	25
生徒数	小学科		1年次		2年次		3年次		4年次		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		15	11	13	18	14	12	10	4	52	45	4			

## 2 目指す学校像

項目	詳細
生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考えて主体的に行動し、自ら課題を発見・解決する生徒の育成を目指す。</li> <li>幸せな未来を創造するために、多様性を受容して他者と協働できる生徒の育成を目指す。</li> <li>自らの将来像を明確に意識し、果敢に挑戦する生徒の育成を目指す。</li> </ul>
教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究心をもって研究と修養に励み、自己の資質・能力向上を目指して学び続ける教員を目指す。</li> <li>教育DXによる、業務の効率化及び教科指導の資の向上を図ることができる教員を目指す。</li> <li>生徒が希望する進路を実現できるように、キャリア教育を組織的・継続的に支援する教員を目指す。</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の人間力の育成と進路目標を達成する学校を目指す。</li> <li>生徒の思考力・判断力・表現力を高める探究学習の実践と、主体的な進路選択及び将来設計を支援するキャリア教育の充実を目指す。</li> <li>生徒の安心・安全を守るため、コンプライアンス、危機管理、いじめなどについての適切な対応の徹底を目指す。</li> <li>保護者、同窓生、地域、関係諸機関等との連携を強化し、よりよい教育環境の整備を目指す。</li> </ul>

3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

<p>入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神 (<b>アントレプレナーシップ</b>) をもつ生徒</li> <li>・健康管理、身だしなみの管理、時間管理など<b>セルフマネジメント</b>ができ、多様性を受容し、他者と協働して課題解決に努める生徒</li> <li>・自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力 (<b>エージェンシー</b>) を高め、将来の目標を見据えて、失敗を恐れず挑戦し続ける生徒</li> </ul>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫を生かした質の高い学習指導及び評価 (考査・観点別評価) を実施し、<b>確かな学力</b> (基礎的・基本的な「知識や技能」に加えて、「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力等」を含めた幅広い学力) を育成する。</li> <li>・主体的に学校行事、生徒会活動・ホームルーム活動、部活動等を通して、「<b>自主、協同、責任</b>」の精神と<b>感謝・報恩の精神</b>を育成する。</li> <li>・探究的キャリア教育、心を開くグループワークなどを通して、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成する。</li> </ul>
<p>育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい未来社会を創造するために自ら課題を発見し、多様な他者と協働して解決できる力の育成</li> <li>・生涯を通じて自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく資質・能力の育成</li> <li>・実社会で活躍し、地域に貢献できる能力を身につけ、一社会人として求められる責任感と行動力を備えた人材の育成</li> </ul>

## 4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な背景をもった多様な生徒が在籍しており、学力や学習意欲に著しい差が見られるため、個に応じたきめ細かなサポート体制が不可欠である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら意欲的に学ぼうとする姿勢を継続させ、社会人として必要な知識を確実に修得させるための取り組みをICT等の活用も含め、様々な角度から工夫していく必要がある。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人が自らの進路について、主体的に考え、選択し、その実現に向けて努力していくことの重要性の理解に努めている。</li> <li>多岐にわたる生徒個々の進路希望実現のための様々な方策を講じていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの適性を理解し、広く世界と職業を知り、進路目標を設定する。探究的キャリア教育等を通し、他者からの刺激を受けながら自らの進路を考える機会をより多く提供していくことが求められる。</li> </ul>
生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>明るく元気に登校している生徒が多く、安全・安心な学校生活を送っている一方で、欠席や遅刻が多かったり、基本的な生活習慣やマナー等について指導をする場面も多い。</li> <li>生徒同士や教員との絆づくり及び居場所づくりを通して、いじめなど他者に不快な思いをさせない快適な環境づくりに努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に通うことの有効性や楽しさを体感させるとともに、心を開くグループワーク等を通して人間関係を構築し、絆を深めることで自己肯定感の醸成に努めていく。</li> <li>悩みや心配事について、いつでも相談できる体制をつくり機動的な対応を図っていく。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>月・水・金の放課後に部活動を実施している。文化祭やクラスマッチ等の各行事は生徒が主体的に企画・運営を行っている。集団活動や行事を通して得られる達成感・充実感は貴重な財産となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者との協働を通して、コミュニケーション力や他者尊重の精神を育むなど、人間的成長が期待できる。今後さらに生徒が活躍する場を提供していきたい。</li> </ul>
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議資料等のペーパーレス化、授業や校務の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外在校等時間については、県内最短レベ</li> </ul>

別紙様式 1 (高)

	<p>を更に図るとともに、業務分担の適正化、教職員個々のWLB向上を目指していきたい。</p>	<p>ルであるが、更なる削減に向けて業務の効率化を進めことで、生徒個々に寄り添った指導の充実に繋げていきたい。</p>
--	---	---

5 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善</li> <li>2 生徒一人一人の希望進路を実現するための組織的・系統的なキャリア教育の推進</li> <li>3 自主的・自立的態度及び豊かな人間性を育成するための学校行事、部活動等の充実</li> <li>4 保護者や地域の理解と信頼を深めるための教育活動の積極的な情報発信</li> <li>5 教職員の資質・能力の向上実現に資する業務改善と職場環境づくりの促進</li> </ol>
---

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
<p>1 主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善</p>	<p>①社会人として備えるべき知識・学力の獲得へ向けた質の高い、内容の濃い授業実践 ②生徒による授業満足度（KPI）3.5以上</p>
<p>2 生徒一人一人の希望進路を実現するための組織的・系統的なキャリア教育の推進</p>	<p>③探究的キャリア教育をはじめとする行事活動の充実 ④生徒一人一人の進路希望の実現と大学進学者の更なる増加</p>
<p>3 自主的・自立的態度及び豊かな人間性を育成するための学校行事、部活動等の充実</p>	<p>⑤生徒の学校行事、部活動等への主体的な参画 ⑥行事活動を通じた課題発見</p>

別紙様式1 (高)

4 保護者や地域の理解と信頼を深めるための教育活動の積極的な情報発信	⑦保護者や地域との連携・協働 ⑧教育活動の積極的な情報発信
5 教職員の資質・能力の向上実現に資する業務改善と職場環境づくりの促進	⑨セルフマネジメントとコンプライアンス遵守 ⑩教育D Xによる業務の効率化及び適正化